

多摩区内小学校



第4回 登戸小学校

明治6年に善立寺内に開校し、今年で創立145周年、多摩区で最も歴史の長い小学校の一つである登戸小学校。

卒業生は13,948名にのぼり、現在は1学年3クラス、680名の児童が通っています。第20代校長の高津原(こうつはら)校長は、登戸の子は素朴で人懐っこい素直な子が多いとの印象を受けるそうです。

グラウンドには、登戸小学校のシンボルでもあるスプレストと呼ばれる大きなすべり台があり、先生から遊び方を教わった2年生以上のみが遊べます。

4年生からは、打楽器(大太鼓・小太鼓・コンガ・ドラムなど)と金管楽器(トランペット・トロンボーン・チューバ・アルトホルンなど)で構成されるスクールバンドに参加することができ、およそ半数にあたる150名が在籍し、毎朝8時から25分間練習しています。そして、町会や登戸まちなか



遊縁地といった地元の行事に数多く出演してきました。

学習方針については、特に思いやりを重視し、子ども達がお互いに挨拶すること、そして改修工事で綺麗になった校舎をより綺麗に使うことを心がけています。

また、歴史の長さ按比例して地域との繋がりも深く、梨園での受粉から収穫までの実習をはじめ、野菜の苗の育成、多摩川音頭の習得などを地元の方々と一緒に行なっています。また、安全感謝の集いと題して、パトロールでお世話になっている町内会・老人会・ボランティア・PTAの方々をお招きして、お礼と出し物を行う集会を行っています。このような経験を通じて、人との触れ合いを大切にしたいと励んでいる学校です。(文:加藤)



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2018年
(平成30年)6月

祝
60
号



多摩の
風景

冒険心あふれる

「多摩川エコ☆カップいかだ下り」



8月4日(土)10:00~13:00 二ヶ領せせらぎ館側の多摩川で、「第11回多摩川エコ☆カップいかだ下り」が開催されます。(小雨決行、荒天中止)

「5歳以上 18歳未満の子どもを必ず含むこと」が参加条件で、大人と子どもの混成チームが、思い思いの工夫を凝らした手作りのいかだを漕ぎ、豪快に川を下ります。昨年は23艇98名が参加しました。

参加チームは、6月30日(土)に船の構造や作り方、水の安全講習受講と、「川流れ」を実際に体験し、川の流れの強さや深さ、流れる方向などを体感して当日を迎えます。安全管理責任者として「レスキュー3」の認定者が指導をし、宿河原堰下から県立多摩高等学校裏河川敷までの約1キロの川の安全確保に務めています。

ペットボトルや発泡スチロールなどを材料にし、オールの代わりに竹ぼうきを使ういかだなど、観るだけでも大変楽しめます。今年は、どんないかだが登場するのでしょうか?

ご家族連れで、あるいはカメラ片手に、「多摩川エコ☆カップいかだ下り」を観戦しに行きましょう! ※いかだは、河川敷で解体して資源ゴミに分別、収集車に回収してもらいます。

【主催】NPO 法人多摩川エコミュージアム
【問合せ】二ヶ領せせらぎ館 (電話 044-900-8386)
【記事: 古川 写真提供: NPO 法人多摩川エコミュージアム】



【協力スタッフ】

「多摩川エコ☆カップいかだ下り」には、多くの協力スタッフがいます。県立向の岡工業高校放送部の皆さんは、司会・進行を担当しています。専修大学、日本女子大学の皆さんは運営スタッフとして協力しています。

多摩区の明日に向かって 第5回 五反田川放水路整備事業

五反田川は、麻生区細山内を源とし、読売ランド前駅近くを経て小田急線に沿って蛇行しながら流下し、向ヶ丘遊園駅近くで二ヶ領本川に合流する流路延長約4.8km、流域面積8.0km²の都市河川です。この川は、洪水時には、下流まで約20分で流下する高低差の著しい河川です。このため、五反田川の下流部及び二ヶ領本川との合流部では、急激な水位上昇により、度重なる水害を繰り返してきました。

五反田川放水路は、洪水時には五反田川の洪水全量(150m³/s)を市立東生田小学校隣で延長2,025m(直径8.70m、深さ38~47m)の地下トンネルに流入させ、直接多摩川へ放流させるものです。トンネル工事については、「シールド工法」で行いました。この工法の特徴は、「シールドマシン」と呼ばれるトンネル掘削機を地中で掘進させ、トンネルを築造するものです。

当事業は、2023年度完成を目指して多摩区の中心部、小田急線や津久井道に沿って行われています。出入口を除き、工事はみなさまの目に触れることなく進んでおり、完成後は、多摩区中心部洪水のおそれは大幅に減ることでしょう。見学会も行っているそうですので、参加してみるのがよいでしょう。(文:児井、藤田)



トンネル掘削機「シールドマシン」



施工中の分流立坑

このシリーズでは、現在多摩区内で進行中、または進行予定のプロジェクトを随時取り上げて行く予定です。

編集後記

多摩区は緑豊かな丘陵地や大小の河川など川崎市の中でも特に自然に恵まれています。一方自然災害にも注意が必要です。まちづくり協議会は皆様の生活に役立つさまざまな情報を今後もお伝えして行きたいと思っています。(児井)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp
ホームページ http://tamaku-machikyoo.com/



多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>



「たまむすび～遊び場支援 プラットフォーム～プロジェクト」 稲田

「たまむすび～遊び場支援プラットフォーム～プロジェクト」は、平成30年3月をもって多摩区まちづくり協議会を卒業することになりました。

これまで行ってきた様々な多世代交流や様々な活動団体・地域団体とのつながり構築・強化を目的としたイベントの経験を、今後は“任意団体たまむすび”として、更なる「多摩区をつなぐ活動」に活かし、未来ある子ども達がのびのび遊ぶ育つ活動団体をサポートしていきたいと思っております。応援をよろしくお願いいたします。



竹細工に挑戦中！

プロジェクト

NPO法人 川崎寺子屋食堂 児井

宿河原と稲田堤の多摩区いこいの家で、母子家庭や生活保護受給家庭などの恵まれない子どもたちに、無償で勉強を教え食事を提供しています。教職など経験豊富なスタッフがボランティアとして子どもたちに接しています。運営はこれを支えてくださる多くの方々の寄付金等で賄っています。これからの未来を生きる子どもたちの支援は、市民がみんなで行わなければならないことを知らされました。



【問合せ先】

電話 044-299-7474

※不在の場合は、留守番電話への録音をお願いします。



4 商店会 33 店舗になりました

4月1日から民家園通り商店会と生田中央商店会においてエコポイントカードによるエコ活動が始まりました。これまでは登戸東通り商店会と区役所通り登栄会で運用されていました。エコポイントカードによるCO₂の削減量はわずかですが、こうした環境問題に意識を持っていただくことが大切だと考えています。今後とも環境活動へのご協力をよろしくお願い致します。



生田中央商店会の
参加店における掲示

プロジェクト

丘の上カフェ

記事 近藤

「みた・まちもりカフェ」で毎月第3水曜日に開催され、認知症や介護の講話を中心に脳トレや健康体操など催し物が盛り沢山です。地域包括支援センターの職員や地域みまもり支援センターの職員、ケアマネージャー、民生委員、薬剤師の方などスタッフも充実していて、いろいろな相談を親身に聞いてもらえます。

各地域にこのような居場所の必要性を強く感じます。



【丘の上カフェ】

<http://okanoue2015.blog.fc2.com/>

「多摩区防災フェア」 「夏休み！多摩区エコフェスタ」 同日開催！！

情報

親子で楽しみながら学べ、いざという時に役立つ『防災ゲーム』や、小学生が夏休みの自由研究などに活用できる『ソーラーハウスづくり』など、楽しいイベントが盛りだくさんです。



【日時】平成30年8月3日(金)
10:00～15:00

【場所】多摩区総合庁舎1階、6階、11階他

【お問い合わせ】

防災フェア：区危機管理担当 電話 044-935-3146

エコフェスタ：区企画課 電話 044-935-3147

平成30年度総会＆新委員顔合わせワークショップ

報告：葛生会長

5月23日(水)18時より多摩区役所において、平成30年度多摩区まちづくり協議会総会を開催しました。今年度は役員改選があり、会長以下全候補が承認されました。第6期委員は、一般公募(26名)と団体推薦(14名)の計40名で活動してまいります。

また、今年度は新規委員を加えて新たなまち協が活動するため、5月15日(火)と総会後の2回、委員交流ワークショップを開催しました。総会前ワークショップでは、まち協の取り組みなどの紹介、委員の自己紹介、グループに分かれてまち協で活動したいことなど、意見交換を行いました。総会後ワークショップでは、

実践組織である研修企画部会、広報編集部及び多摩エコスタイルプロジェクトの紹介を行い、その後、各部・プロジェクトの代表が中心となって、グループに分かれて意見交換を行いました。

今期は、新規委員を加えた新たなまち協として、区民及び市民活動団体の皆さまと連携・協働を図り、活動にチャレンジしてまいります。



新体制でスタート

登戸研究所保存の会

記事 森

明治大学生田キャンパス内にあった旧陸軍の登戸研究所は、風船爆弾や偽札・生物兵器などを製造する秘密の研究所でした。「保存の会」は2006年から活動を始め、2010年には跡地の残る明治大学の協力で「明治大学平和教育登戸研究所資料館」を開設し、現在も市民や子ども達に平和の大切さを後世に伝える活動を続けています。



【見学などのお問い合わせ】

森田忠正さん

電話 044-911-2726

写真提供：インターネット川崎ガイド

たまたま子育てまつり

記事 小澤

第16回たまたま子育てまつりが、9月16日(日)9:45～15:00まで多摩区総合庁舎で開催されます。

このまつりは、区内で子育て中の保護者や子育てに関心のある人を、イベントを通して地域全体で支援し、よりよい環境づくりと生涯学習の推進を図るものです。「観たり・聴いたり・作ったり」一日楽しむことができます。毎回3千人を超える人が参加しています。



一緒に楽しんでみませんか。

【お問い合わせ】多摩市民館 電話 044-935-3333

地域通貨たま運営委員会

記事 小澤



皆さん、地域通貨「たま」をお使いになったことがありますか。地域通貨「たま」とは、お金(円)ではなく、お礼の気持ちを表す通貨のことで。

多摩区の「たま」と球(ボール)がネーミングの由来で2007年からスタートしました。紙幣は「50たま」と「100たま」の2種類があります。通貨は区内の登録されている商店で利用でき、また、人への思いやり、優しさ、信頼できるつながりがくる回る関係にも使えます。

暮らしやすさ、住みやすさのまちづくりに一役買っています。

【事務局 NPO法人ぐらす・かわさき】

電話 044-872-9325

区内のイベント情報 (7月～9月)

■かわさき色輪っかつなぎ 2018

7/7(土)13:00～@ニヶ領せせらぎ館 河川敷

■多摩川せせらぎ夏万博大作戦

7/15(日)10:00～@ニヶ領せせらぎ館 河川敷

■アトリウムコンサート

8/8(水)12:00～@多摩区総合庁舎1階アトリウム

■生田緑地サマーミュージアム

8/19(日)11:00～@生田緑地中央広場ほか

■平成30年度第1回多摩区総合防災訓練

9/2(日)9:30～@菅中学校

■区民体カテストのつどい

9/2(日)9:30～@川崎市多摩スポーツセンター

■菅の獅子舞

9/9(日)9:00～子ども相撲 14:00～獅子舞@菅・薬師堂

※ イベントの内容は変更になる場合がございます。